

2026 年 10 月 7 日

全国下水サーベイランス推進協議会と日本下水サーベイランス協会は、和田義明衆議院議員（自由民主党政務調査会国土交通部会長）に対し、下水サーベイランスの社会実装の推進に向けての意見交換を実施しました。

令和 8 年 10 月 7 日（水）、全国下水サーベイランス推進協議会と日本下水サーベイランス協会は、「骨太の方針 2026」に下水サーベイランスの推進が明記されたことを受け、和田義明衆議院議員（自由民主党政務調査会国土交通部会長）に対し、社会実装の推進に向けて以下の提案を行いました。

- **事業の予算化：**「下水サーベイランス社会実装事業」の新規創設に 5.2 億円、設備費補助に 2.5 億円の予算化を要望。
- **全国モニタリング網の構築：**全国の県庁所在地を中心に、47 都道府県で計 50 か所の観測拠点を決定・設置。
- **2 省連携の会議体設置：**厚生労働省と国土交通省が学識経験者を交えた「推進連携会議」を設置し、研究にとどまらない社会実装を推進。

和田義明衆議院議員からは、感染症対策は今後も継続して取り組むべき重要課題であり、下水サーベイランスの有効性に理解を示していただきました。また、関係省庁がそれぞれ役割と責任を明確にしたうえで、継続的な事業として社会実装を進める枠組み作りが重要であるとのことをご意見をいただきました。さらに、「国家安全保障（バイオテロ対策）」や「国土強靱化安全保障（管路危険度マップ等）」にも貢献する点について評価をいただき、両団体の要望内容に対してご理解をいただきました。

[要望先]：

- 和田義明 衆議院議員、自由民主党政務調査会国土交通部会長

[訪問者]：

- 広瀬栄 前兵庫県養父市長、全国下水サーベイランス推進協議会特別顧問
- 北島正章 東京大学 特任教授、全国下水サーベイランス推進協議会理事、一般社団法人日本下水サーベイランス協会理事
- 小林博幸 一般社団法人日本下水サーベイランス協会副会長



(写真：右から小林氏、広瀬氏、和田衆議院議員、北島氏、(株)エクサウィザーズ 中嶋氏)